



花 育 情 報



☆花や緑に関する情報をお届けします。

< 5月のお花 > フジ



北方文化博物館 藤棚 (2018.5 撮影)

マメ科 フジ属

学 名・・・Wisteria

開花期・・・4月～5月

原産地・・・日本・中国・アメリカ東部

花言葉・・・「歓迎」 「優しさ」

フジは世界に広まっており10種ほどの品種があり、フジはツルの巻き方によってそれを判別できます。代表的なものはノダフジとヤマフジですが、ノダフジが右巻き、ヤマフジが左巻きになります。

北方文化博物館の大藤

新潟市江南区にある越後随一の大地主「伊藤家」であった「北方文化博物館」にある大藤棚は5月に見事な花を咲かせ、その大きさには圧倒されます。

この大藤は樹齢150年、大きさは80畳あります。花が開き房が下へと伸び藤棚の下から見る薄紫色の光景には感動を覚えるほどです。

今年は新型コロナウィルスの影響で休館が続き見学できる期間も短くなると思われますが、来年以降、また素晴らしい花を見られることを期待しましょう。



佐藤さん、伊藤さん、加藤さん、斎藤さん・・・

香りが強く、美しく咲くフジは古くから女性らしさの象徴とされてきました。

また、日本人に多い苗字には「藤」の字が多くついています。なぜなのか???

じつは、あの藤原氏の影響だそうです。藤原氏の一族は全国に広まり、伊勢の国の藤原氏は伊藤さん、加賀の国の藤原氏は加藤さんとなった説があります。その後、明治になり苗字が義務付けられるようになると、名門藤原氏にあやかりゆかりの無い人も「藤」の付く苗字を使うようになったとの話です。

黒田官兵衛を助けたのは花だった！？

数年前の大河ドラマで岡田准一さんが演じて話題になった「黒田官兵衛」。

この官兵衛の人生ドラマには「花」が大きく関わっているのです。

1578年10月、謀反をおこした荒木村重を説得に有岡城に向かった官兵衛はそのまま牢に幽閉されてしまいます。その牢獄は湿度も高く、まともに横になれない劣悪な環境の中一年あまりを過ごすことになった官兵衛が生きながらえた要因の一つが花でした。

石でできた牢獄の唯一の隙間から見えた「藤」、風雨にさらされてもたくましく咲く藤の花の生命力に支えられ過酷な牢生活を乗り切ったと言われていています。

実はこの話を裏づける研究結果があるのです！千葉大学の研究で花を見るだけでストレス軽減効果があると報告されています。花や緑はストレスを感じた時はそのストレス値を下げ、体調を最適な状態にする調整効果があるそうです。

この研究結果をみても、官兵衛が藤の花に救われたという話は真実味をおびてきますね。

このように、花や緑には人をリラックスさせる効果があります。

家の中で過ごす時間が多くなっている今、花や緑をお部屋の中に飾る、庭に花苗を植えてみる、プランターで野菜作りに挑戦してみるなども良いかもしれませんね。

<参考文献> 千葉大学環境フィールド科学センター

「花きに対する正しい知識の検証・普及事業」



黒田家の家紋 藤巴 © 黒田家



花育情報

検索

花育情報のバックナンバーは新潟市ホームページへ



<発行・問合せ> 新潟市農林水産部 食と花の推進課 食育・花育担当

〒951-8554 新潟市中央区古町通7番町1010番地 Tel: 025-226-1792 Fax: 025-226-0021

E-mail: shokuhana@city.niigata.lg.jp

【花育情報 no6 2020年5月発行】